

SSKP

2020年9月

# はれのちくもり

第128号

別冊ピアス通信 第48号



この通信では、ピアス（就労移行支援事業・自立訓練（生活訓練）事業・就労定着支援事業）のトレーニングやイベントを中心に、「働く」ことに関する情報を発信していきます。

今号では、前代未聞のコロナ禍を模索した私達の試行錯誤とピアスのこの半年間の歩みを振り返り、様々なスタッフ・メンバーの思いの声とともにお伝えしていきたいと思えます。

## 特集 わたしたちのコロナ記

施設長 伊藤 祐子

2020年2月。感染者を出さないようにしながらどうやって支援を続けていくのか。サービス提供と、リスク回避とのさまざまな確かな判断をするのはとても難しく、その時点では、対面以外の方法に効果があるのかは疑問でしたし、ぎりぎりまで開所を続けよう、という思いが現場では強くありました。密を避けるため、通所時間をずらすなどの工夫をしていましたが、2月3月と日を追うごとに感染者数が増加したため、まず配食事業を4月に休止し、緊急事態宣言を受けて4月16日から、ピアスが97年に開所して以来初めての通所休止期間に入りました。

近隣に住む職員で、ピアスに出勤するチームと、くにたち苑でリネン作業を行うチームとにわかれて、在宅支援をスタートさせました。ピアスに出勤した職員が、毎日メンバーと電話で話をしました。生活リズムの維持、健康状態の確認…、そんな支援の意図はもちろんありましたが、その人の生活や文化を感じ合うことでうまれた繋がりに職員も支えられました。ビデオ通話も使い始め、離れていても相互作用することができると感じ始めました。

毎日2回ずつメール配信した「ピアスだより」では、「300字でテーマに沿って文章を書く」ことに取り組んでもらいました。わたしたちが考えた在宅でのサービスとは、パソコンで表を作るとか何かの教材に取り組むとかそういう短絡的なものではなく、これまでの訓練を通して感じたことを振り返り、自分の力で文章にまとめるという作業であり、これは「自分自身について整理し相手に伝える」という就労支援においてとても重要なことに直結すると思ったからです。そして、この文章をメンバーがお互いに読むことで影響をうけあい、繋がりを感じられる助けとなりました。休業していた職員も文章を書きあうことで、職場に来られずもどかしい思いをしているお互いを繋ぐ役割も果たしました。また、十数か所の市区町村と、これを在宅支援として認めてもらうため電話で何度もやりとりをしたことも思い出されます。

宣言解除は5月末まで延長すると発表されましたが、わたしたちは一足早く5月22日から通所を再開しました。メンバー職員から望む声もありましたし、たくさんの工夫をしながらであれば、サービス提供とリスク回避を両立できると考えたからです。

再開初日は5グループにわかれて集まり、5月末までは週3日の通所でスタート。

6月を、通所日をもとに戻して生活リズムを取り戻す1ヶ月とし、通所時の混雑や密を避けるため、ミーティングを簡素化して集合を30分ずらし、午前チームと午後チームで入れ替わりました。密になりがちな厨房部門では、参加人数をかなり少なくしました。このような中でも、就労への動きは最優先しようと確認し、実習予定がある人はみんなの協力のもと一日トレーニングに入れるようにしました。職員も、建物内の密を避けるため出勤時間を調整しながら体制を組みました。

7月は、トレーニング時間数をもとに戻して体力を取り戻す1ヶ月とし、密時間を減らすため昼食時間を45分に短縮しました。また、就労プログラムを少人数から再開。

8月は、プログラムを再開しピアス全体のシステムを取り戻す1ヶ月とし、実践期のメンバーも加わって、各部門の講座を午前チームと午後チームに分かれて開催、就労プログラムはズームを使い、講義形式で二つの会場で行いました。改善すべき点はまだまだありますが、オンラインもわたしたちなりにうまく取り入れています。

9月現在、就労プログラムは、メンバーが発言しあえる空間を確保できるよう、木曜チームと金曜チームとに分かれて開催しています。職員の出勤も通常時間に戻したところです。

OBのみなさんへの定着支援も、訪問や面談の予定を、電話やズームに切り替えながら続けてきました。多くのメンバーが集まるOB会は休止せざるを得ず、ズームを使っただけのオンラインOB会を6月より毎月行い、OB向けの「ピアスだより」もメール配信してきました。

10月からは、東京都の警戒レベルが3に下がったことを受けて、土曜日のプログラムも少しずつ再開しようと話しています。4面でOB会についてのお知らせがありますので、ぜひご覧ください。

密を避け距離をとる日々は続いていますが、そんな中でもお互いの繋がりはきちんと息づいていると感じます。久しぶりに再開した就労プログラムは、以前よりも机と机の距離があるけれど、自分の意見を発言し、人の話に耳を傾けるメンバーの姿は以前と変わらず、ちょっとした場面での立ち話や声かけを大事にしながら、ストレスは感じつつもこの大きな環境変化に対応できているたくましさを感じます。この期間も、自分と向き合いながら就職活動をコツコツと続けていたメンバーたちは就職を決め、新しい一歩を踏み出したその姿はみんなに希望を与えています。

## ピアスの日々 通所を再開して

### メンバーの声

#### 倉林さん

ピアスが閉所するとなったとき、どう思われましたか？

—— 閉所することが決まった時には、自分の病気がぶり返すのではというやり場のない不安がありました。実際閉所になってみると、不安の詳細までは話せない時でも、電話でスタッフと話すことでスッキリしたし、毎日話すことが楽しみになっていました。また、日記に自分の気持ちを書いていったことも良かったのだと思っています。

閉所期間中を振り返ってみていかがですか？

—— 皆さんの返信メールを見ながら、思いは同じだなと感じたり、逆に自分と違うところは参考にできたりしながら、だんだんと不安は消えていったように思います。

閉所中の変化としては、時間を持て余すことがなくなって、時間の使い方を工夫できるようになったと思います。最初はあれもしようこれもしよう予定を詰め込み、焦ったり疲れたりしていたのですが、他の人の過ごし方も知っていったり、焦っても仕方がないと思えるようになって、自分なりの上手い時間の使い方が見つかっていったように思います。

ピアスが再開するにあたっては？

—— 再開してからは、計画が遅れていくではとか、移行のトレーニング体験をやり始めていたのに、休みを挟んで体力が戻るのか、作業を覚えているか…という心配をしていたけれども、通所の戻り方は段階的に少しずつだったので、かえってそれがよかったです。順調に戻れていると思います。また、今利用しているのは生活訓練だということも気持ち的には余裕でいられたのだと感じています。



4/10 メンバーが描いてくれたホワイトボードのイラスト

ピアスを再開して現在に至るまでの模索や工夫のなかで、様々な変化が生じています。新しいピアス生活へのメンバーの声とスタッフの思いです。

#### Aさん

ピアスが閉所することについてどう感じていましたか？  
—— コロナをあまり脅威に思っていなかったため、どこか他人事のように感じました。

ちょうどその時期はトレーニングでいっぱいだったため、閉所になることで一休みできたから、あまりネガティブに思うことはなかったです。

閉所期間中を振り返るとどうですか？

—— 生活リズムは崩れなかった。ピアスとの電話のやりとりのなかで、それは強みだね、と言われました。平日は毎日ピアスと電話でやりとりをしていて、普段はあまりしないような取り留めのないことを話していました。一人暮らしで、コロナが心配で実家にも帰ってなく、人と喋る機会が全くなかったため、やりとりできてよかったです。体力は落ちましたけど…。

再開後のピアスの変化については？

—— そこまで何も深く考えることなく、淡々と受け止めてこなしていました。変化による大変さはそこまで感じなかったし、しょうがないよね…と思っています。唯一厨房は大変だったと思う。お昼にみんなで喋っていた時間が今あまりないのは残念だし、ピアスⅡや生訓の人と会えないのも寂しいです。

#### 植木さん

閉所期間中を振り返るとどうですか？

—— 個人的には、訓練の疲れがたまっていたときだったので、体を休めることができたのでよかったですという面がありました。その一方で、時間があるのでいろいろ考え込んでしまうこともありました。生活リズムを保つ難しさもあったので、ピアスからのメールのお題には、できる限り参加するようにしていました。電話でのやりとりも安心できました。

再開後のピアスの変化については？

—— 少しずつ時間数を増やしたり、ちょうど午前の厨房に入るなど、自分は新しい仕組みになるとちょうどタイミングが合ったので、そこはよかったですと思います。

この半年の期間で、自分にどんな影響があった？

—— もともと外に出かける方ではなく、ストレスを感じていないので、体調面に影響はあまりないです。ですが、自分は、ゆっくり着実にここまで進めてきたので、2年間という利用期限を考えると、この期間に思ったより時間がかかって焦りを感じているというのが正直なところです。その部分の影響が一番大きいです。

### 職員も振り返って

ピアスで初めての閉所期間、メールやビデオ通話でのやりとりを通してメンバーさん達と繋がり、新しい一面を発見できたり、これも良い方法の一つなのだと感じつつ、一方で直接会えることを頼りにしていた自分を実感する機会にもなりました。5月22日、ようやくピアスを再開でき、メンバーさん達とお会いしたときの嬉しさは忘れることができません。

変化を厭わない棕櫚亭、それは大きな強みの一つであると思っているし、私の大好きな面でもあります。でも、今回は強制的にそうせざるを得なかった変化もきつと多く、その選択はそのときの最善であったとは思っていますが、自分の体にスッと馴染むような納得ができる時間がないままの変化も多かったのでは、とも感じています。でも、でも、そんな中でメンバーさんも職員も前を向いて今やれることをやっています。みんなで顔を合わせていれば笑顔でいられる、それがとても大きな力なのだと思います。これからも一つ一つ一緒に乗り越えていきたいなと思っています。（増田）

### ピアスの部門トレーニングを再開しながら

緊急事態宣言を受けてピアスが閉所になってからの約1ヶ月半、私は完全に自宅待機させてもらっていました。そのため当然家族以外とは殆ど話さず、電車に乗って出かけるのも5月22日が本当に久しぶり。その日はやたらと緊張し、すでに人酔いしてソワソワしながら谷保に降り立ちました。ピアスで次々と顔馴染みのメンバーと再会した時の懐かしさとホッとした感覚は忘れられません。その日は地に足がつかないまま過ごし、「なんだか新入職員みたい」と笑われましたが…。

ようやく「仕事をする」頭の感覚が戻ってきたのは2ヶ月ほど経ってからでした。当たり前のようにあったピアスという場の存在やあり方についても、このコロナによる影響を通して考え直すものがありました。毎日通う場所があるということや、顔を合わせて話すこと、体を動かしてトレーニングを続けることで付く力というものを、強制的に日常が途切れたことで自分の体で経験し直したことは大きく、またこれらは決してオンラインでは代え難いものであると感じています。

特に就労という分野へのコロナの打撃は大きく、今までにない苦労も強いられることも増えていますが、強いられた変化が思いがけない効果を生んだこともたくさんあり、逆境を逆手に取りながら新たなピアスを作り上げていく局面を迎えています。そんな中だからこそ、ピアスらしさを見失わずに、健康に気をつけながら着実に日々の歩みを積み重ねていき、いつか以前のように顔を突き合わせておしゃべりしながらゆっくりご飯を食べたり、イベントを大々的に楽しめるような日々が戻ってくるといいなと思っています。（尾崎）

職員お手製マスクのいろいろ



現在、お弁当は使い捨て容器でお届け中です



### ピアスⅡ（自立訓練（生訓）事業）では

ピアスの色々な変化に伴い、ピアスⅡでも新しい日常が始まっています。至るところの窓を開け空気を入れ替えるところから始まり、作業前後の消毒もしっかりと行います。お昼の時間は無言で黙々と各自弁当を食べます。この、お昼の時間、私にとってなかなか慣れない時間でしたが、最近は職員やメンバーさんが代わる代わる音楽を流しています。なつかしい！という曲や新たな出会いとなる曲などなど、前とは違ったお昼の時間を最近楽しんでます。

ピアスⅡの変化は朝やお昼だけではなく、作業面でもあります。ピアスⅡを飛び出してピアス2階で梱包の作業を行なっています。近くの会社さんからの依頼の作業でゆくゆくはお客様の元に届く商品を丁寧に梱包しています。

また、ピアスⅡの担当としてはバージョンアップし続ける「手作りマスク」の紹介も欠かせません。コロナが徐々に流行り出し、マスクが品薄になった昨年2月ごろにピアスⅡでペーパータオルと輪ゴムによるマスク第一号が完成。どうしたらつけ心地の良いマスクになるか、、、とみんなで試行錯誤を繰り返して

きました。ピアスの玄関や2階に置いてあるので是非手に取ってみてください！



主にピアスⅡの変化について書いてみると変わったこと、増えたこと意外とあるなあと感じました。はじめは職員も手探りの部分もあり、みなさんの協力のもと今の形を作ることができたと思います。今日もピアスⅡは新しい仲間を迎えながら、和気あいあいと以前と変わらない雰囲気大切に過ごしています。（森岡）

## 定着支援事業に ついて

工夫を続けているピアスの定着支援事業。前号ではピアスだよりOB版をご紹介しましたが、今号では今までに4回行われた《オンラインOB会》について、その雰囲気をご紹介します。

6月から月1回ペースで行ってきた、オンラインOB会。zoom設定もお手の物！？  
9月のOB会（12日）では、近況を報告しあいながら、このコロナ禍で緊張が続く昨今のMy癒しについて聞いてみました。

### 最近の癒しは何？

- 堀井さん 最近になって、週に1回くらい、コンビニで売っている入浴剤を入れて湯舟につかっています。柑橘系は、よく眠れるのでおすすめですよ。
- 松澤さん 通勤でしているサイクリング。ストレス発散になってます。
- M井さん 自分時間を取るようにしています。父と二人暮らしなので、ピリピリギスギスするときもあるけど、家庭内ソーシャルディスタンスをとっています！
- M田さん 音楽を聴くくらいですね。
- 今野さん 肉体労働だからか、癒しはあまり必要を感じませんが、体の疲れは睡眠でとってます。楽しみは、ゲームですね。
- 山内さん 音楽を聴くことと、カラオケのマイクを買ったので、カラオケに行くことです！
- ・・・みなさん、ご参加ありがとうございました。また10月もお待ちしています。

### ◆ピアスからのお知らせ◆

#### ～OB会～

今月から、ピアスでのOB会を部分的に再開していきます。

今まで、ZOOMでの参加ができなかったメンバーのみなさん、お待たせしました。

① 日時：10月10日（土）10時30分～1時間程度 会場：ピアス2階

参加メンバー：今まで、オンラインで参加できなかったメンバーのみなさん

内容：近況報告しあいましょう

申し込み：10月9日（金）までに、ピアスにお電話かメールでご連絡ください！

ZOOM参加できるメンバーのみなさん、今月も開催します。

② 日時：10月24日（土）10時30分～ ZOOMでのオンラインです

#### ～CES～

日時：10月17日（土）10時～ ※今月は、第3週に行います。

### ○編集後記○

このピアス通信を発行するにあたり、私達はこの半年間、何を大切にしてきたのか。変化させたもの、守ってきたもの、常々考えてきたこと、などなど思い出しました。次号発行まで今しがたこの穏やかな日々が続きますように。（長野）

ホームページで最新情報をお届けしています。

➔ [www.shuro.jp](http://www.shuro.jp)

または『棕櫚亭』で検索！



【編集】 国立市富士見台 1-17-4

社会福祉法人 多摩棕櫚亭協会

就労移行支援事業所ピアス内

はれのちくもり編集委員会

Tel 042-575-5911

【発行】 特定非営利活動法人

障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 世田谷区祖師谷 3-1-17-102

Tel 03-6277-9611

【定価】 100円

